

# 仕組み改革の検討課題

平成29年7月19日  
都政改革本部

# 1. 仕組み改革とは

## (1) 取組内容

第7回都政改革本部会議（2017年3月31日）資料抜粋

### 3 各改革の取組

#### (3) 仕組み改革

##### ② 今後の取組(案)

- 「しごと改革」「見える化改革」からの成果や課題を踏まえた改革を進めるとともに、当面は、以下の改革に取り組む

#### 執行体制の強化

- 見える化による役割分担の見直しを進めるとともに、監理団体の戦略的活用、幹部職員の再就職などを含め、“都庁グループ”としての総合力を発揮できる執行体制を確立

「しごと改革」「見える化改革」の検討状況に応じて

#### ICTの活用推進

各局がICTを積極的に活用するための環境の改善や民間ノウハウの活用等

#### 人事制度の見直し

都庁の財産である「人」の確実な確保と活用を推進

#### 多様な主体との連携強化

効果的な政策・施策の実現に向け、多様な主体との連携を強化

#### 財務戦略の構築

更なる財政基盤の維持・向上策の実現

などの取組を検討

# 1. 仕組み改革とは

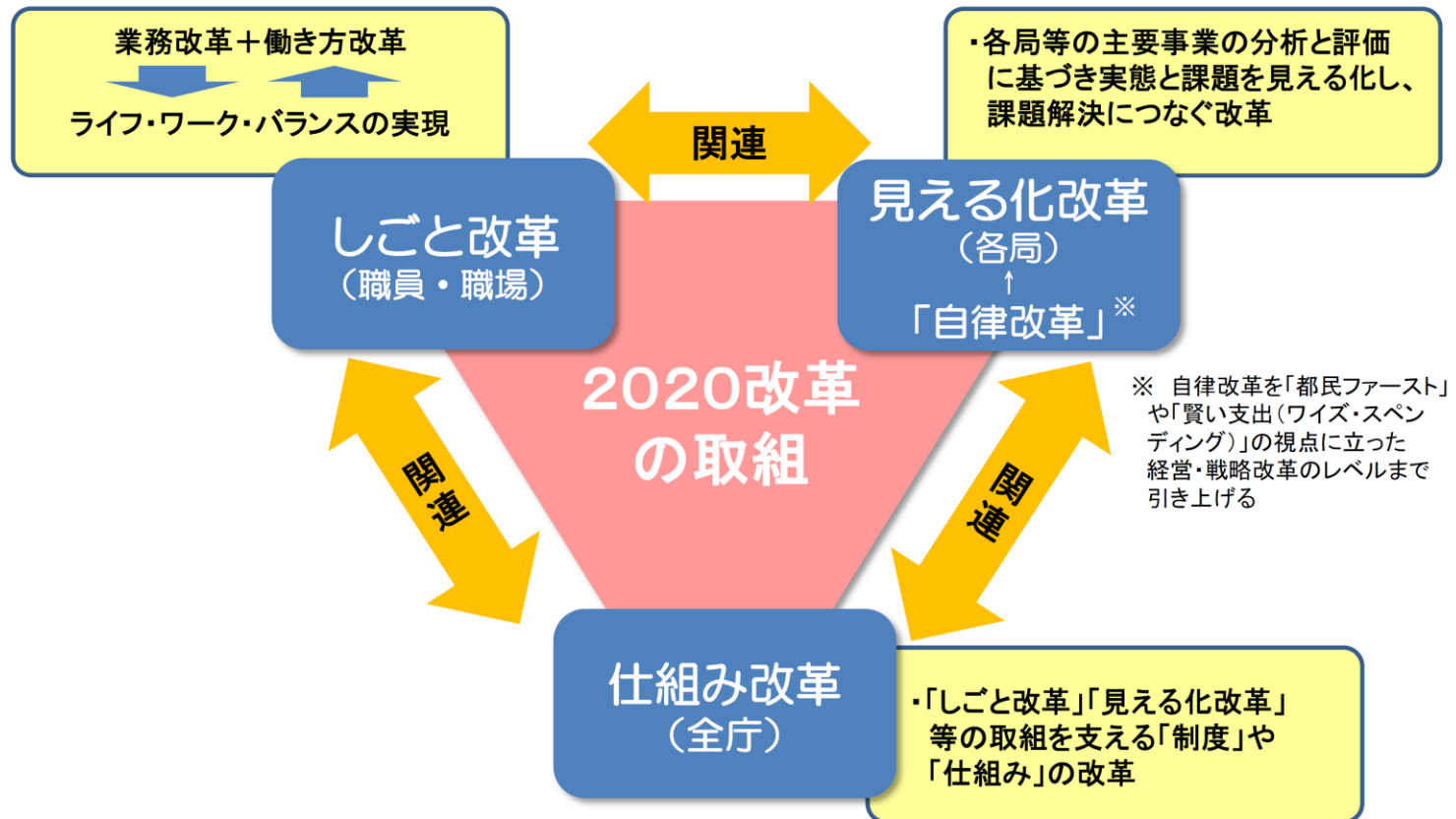
## (2) 各改革の相互関係

第7回都政改革本部会議（2017年3月31日）資料抜粋

### 2 「2020改革」の取組

#### (2) 各改革の相互関係

- 各取組主体により検討を進めるとともに、それぞれの成果や課題を相互に取り込み、ボトム・アップを基本としつつ、職員・職場レベル、局レベル、全庁レベルの改革に取り組む。



# 1. 仕組み改革とは

## (3) 検討手順

### I 課題の抽出

あらゆる手法で、仕組み改革の検討対象となる課題が抽出される。

<課題抽出のきっかけ>

- A 見える化改革  
事業ユニット分析
- B 自律改革
- C しごと改革  
(ライフ・ワーク・バランスPTでの検討など)
- D 昨年度来の都政改革  
(情報公開・内部統制など)
- E 総務局・財務局等、  
制度所管での検討
- F 都民の声、  
職員目安箱等への意見

### II 見える化（分析）

検討課題の分析は「見える化」の手法で行う。  
具体的には「都民ファースト」「賢い支出（ワイズ・スペンディング）」「情報公開」の三原則を仕組み改革にも適用して検討・検証を行う。

<仕組み改革における適用>

- 都民ファースト  
⇒ 事業局（もしくは区市町村・監理団体）目線で、  
分かりやすく有用な仕組みになっているか。
- 賢い支出（ワイズ・スペンディング）  
⇒ 制度・仕組みの運用は無駄のないものになっているか。  
(例：手続きや様式はもっと簡素に、スピーディにできる  
のでは?)
- 情報公開  
⇒ 有用な情報を庁内に提供しているか。  
(例：照会の多い案件について、FAQを作成・公表でき  
ているか?)

### III 改革

- 分析の結果、明らかとなった課題について、改革案を検討。
- 速やかに実行に移していく。

# 1. 仕組み改革とは

## (4) 自律改革から仕組み改革へつながる事例

各局の自律的取組では解決できない全庁横断的な課題については、  
「制度」「仕組み」の改革が必要になる。

### 【解決困難な事例】

#### モバイルワーク導入による生産性の向上

出張先や移動中の隙間時間を活用して作業できる環境が整っていないため非効率

庁内外に持ち歩きができるタブレット端末の配備等の基盤整備に加え、職員の服務等の規程整備が必要

#### システムの見直しによる業務の効率化

現金による児童手当の支給は事務が煩雑であることに加え、紛失等のリスクが存在

財務会計システムを活用した口座振込による支給を行うには、会計事務規則の見直しが必要

#### 休憩時間の分散化

新宿本庁舎では、休憩時間一斉付与に伴い、エレベータや職員食堂の混雑等が発生

新宿本庁舎に勤務する全職員が昼の休憩時間を選択できる仕組みが必要

## 2. 仕組み改革の検討課題

### (1) 現時点の検討単位

検討単位	課題抽出のきっかけ					所管局
	見える化改革	自律改革	しごと改革	昨年度来の改革	制度所管での検討	
※ 1～7は既に着手。 <span style="background-color: #FFC0CB;"> </span> はⅢ改革、 <span style="background-color: #ADD8E6;"> </span> はⅡ分析まで実施						
1 情報公開	✓	✓		✓		生活文化局
2 情報発信(ホームページの機能向上)	✓	✓		✓		生活文化局
3 内部統制 / コンプライアンス		✓		✓		総務局等
4 入札・契約	✓			✓		財務局
5 監理団体等	✓				✓	総務局
6 退職管理・再任用制度					✓	総務局
7 ICT戦略(IoT、電子申請、オープンデータ等を含む)					✓	総務局
8 人材育成(採用・人材交流・人事配置を含む)	✓		✓			総務局
9 能力開発	✓		✓			総務局
10 人事制度 / 人事評価	✓		✓			総務局
11 ICTマネジメント(システム評価を含む)	✓	✓	✓			総務局
12 事業評価 / 行政評価	✓			✓		財務局・総務局
13 財務マネジメント(基金を含む)	✓					財務局
14 財産利活用	✓					財務局

※ 検討項目は現時点でのものであり、今後、加除は柔軟に行う。

※ 都民の声、職員目安箱等への意見は、検討単位全般に関連する。

## 2. 仕組み改革の検討課題

### (2) 課題の検討・検証（例：人材育成）

労働力人口の減少が課題とされる中、今後も、質・量ともに必要な人材を採用・育成することは可能か。

#### 《職員アンケート・職員目安箱の意見》

- 近年、採用試験の倍率が低下している。優秀な人材の獲得が困難になっているのではないか。採用PRなどもより一層力を注ぐべきではないか。
- 3つのシティを実現するために必要な人材の獲得に向け、より高度な専門性を有する人材を採用すべきではないか。
- 直営だった業務が委託化され若手職員が技術的知識や経験を積む機会が失われている。
- 自治体間での連携は重要だが、他自治体への派遣を経験できる職員が限られている。

#### 《検証にあたっての問題意識》

- ✓ 国や他団体との競合の中で、現在の採用区分・方法により、各局の求める人材が獲得できているか。
- ✓ 採用した人材の専門性の維持・向上のため、必要な経験の付与やジョブローテーションなど人材育成が機能しているか。

#### 知事部局による制度の検討

各局・職員

意見

周知・理解促進

総務局  
(制度所管)

反映

公営企業局  
(交通・水道・下水道)

行政委員会等